

大分県版児童生徒支援シート
様式1 フェイスシート

記入例

記載者(広瀬 淡男)記載年月日(平成30年 1月 20日)

児童・生徒		学校名	宗麟小学校	学年学級	5年1組	担任	広瀬 淡男	
ふりがな	おおいた たろう		性別	生年月日	平成18年5月5日	年齢	11歳	
氏名	大分 太郎							
住所	(〒870-1124) 大分市旦野原847 センターハイツ101							

主訴 不登校 いじめ 特別支援 問題行動 経済的困窮 心的要因 その他()

家族構成(ジェノグラム)		健康面		■障がい: 知的・身体 (発達)・その他()	
		<input type="checkbox"/> 慢性疾患: アレルギー等 <input type="checkbox"/> 体調不良の訴え あり(なし)		病院受診 <input checked="" type="checkbox"/> あり H29年12月~ 病院: △△病院 Dr: 旦野医師	
		手帳 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 身障 <input type="checkbox"/> 精神 <input checked="" type="checkbox"/> なし		服薬 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
保護者の動向・意向		登校できるようになってほしい、癩癩がなくなってほしい			
本人の好きなこと 趣味・特技等		水遊び、ゲーム、算数			

今年度欠席状況												過年度の欠席状況(不登校等の期間を← →)												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
0	7	10	6	1	19	全欠	全欠	全欠	全欠							→								

子どもの学校生活の状況			家族・親子関係及び家庭生活の状況		
学習面	学習意欲: 高・中(中) 低	生活面	仲のよい友だち: あり(なし)	家族関係: 良好(不良) (父と別居)	
	学習理解: 良好(不良) 不良		集団参加: 可・不可(不可)	睡眠: 良好・不良(昼夜逆転)	
	学習態度: 良好(不良) 不良		友だちとのトラブル: あり(なし)	食欲: 良好・不良(偏食)	
	・算数の四則計算は速い。 ・プリント学習は良くできる。 ・授業中に急に立ち歩いたりしゃべりだしたりすることがある。 ・水泳がある日は登校できた。		・集会等の集団活動は苦手。 ・うるさいところが苦手。 ・勝負事で負けると怒り出してトラブルになる。 ・水泳が中止になるなどの予定変更があると怒ったり泣いたりする。	・父母が不仲で、父は別居状態 ・母が一人で養育をしている状況で、日中は太郎が一人で家にいる。 ・オンラインゲームにはまり、昼夜逆転気味になっている。 ・弟は幼稚園に通っている。	

本人の困り・願い	家庭(保護者)の困り・願い	学校の困り・願い
・集団活動はしたくないが学習はしたい。 ・担任の先生が苦手、昨年度の担任のクラスになりたい。 ・学校には行きたくない。 ・学校でもパソコンを使いたい。 ※H29年12月に自閉スペクトラムと診断	・日中に太郎を見守る人がいない。 ・急に癩癩を起こすので落ち着いてほしい。 ・ゲームばかりしていてご飯を食べない。 ・昼夜逆転がなくなってほしい。 ・学校に行けるようになってほしい。	・学校に来たときに太郎につける教員がいない。 ・太郎への適切な対応を知りたい。

児童・生徒		学校名	宗麟小学校	学年学級	5年1組	担任	広瀬 淡男
ふりがな	おおいた たろう	性別	男・女	生年月日	2006/5/5	年齢	11歳
氏名	大分 太郎	保護者	(母) まるこ	勤務先	◇◇保険	連絡先	000-1111 090-2222-3333

◇支援目標

長期的な支援目標【□半年(月まで) ■3ヶ月(3月まで)】

昼夜逆転を解消し、日中に楽しめる活動を見つける。

短期的な支援目標【□3ヶ月 □2ヶ月 ■1ヶ月 □2週間 □1週間】

日中に太郎が活動できる機関につなげる。

◇課題に沿った役割分担

目標・課題	具体的な方法・役割	担当者
適応指導教室につながる	教育支援センターに相談する。	担任 広瀬
福祉のサービスを探す	母にSSWを紹介し、母の困りを解消できそうなサービスや日中関われる人材を紹介してもらう。	相談コーディネーター 田能村
本人の気持ちを聴き取る	○日に登校を約束し、登校できたら気持ちを聴き取る。 登校できなかったら電話で聴き取る。	SC 福田 昨年度担任 滝
学校とのつながりを保つ	SSWと家庭訪問を行う。	担任 広瀬 SSW 双葉山
ユニバーサルデザインの授業 太郎の特性に応じた対応	自閉症スペクトラムの子どもへの支援について学ぶ。	特支コーディネーター 福沢・担任 広瀬
再登校した際の対応	再登校した際は、笑顔であいさつし、それ以上の質問等は控える。	全職員

◇校内の人的資源と関係機関 (◎関係が良好 ○普通 △過去に関わりがあったが現在はない ×関係が不良)

管理職 教頭 大友○	担任 広瀬 ×	友だち 昨年度担任 滝◎	教育委員会	警察署
教育相談コーディネーター 田能村 ○	児童生徒 太郎	保護者 母 ◎	教育支援センター	保健センター
生徒指導担当		SC 福田	小・中・高・特支	労働支援
特別支援コーディネーター 福沢 ○	部活顧問	SSW 双葉山	医療 且野医師 ◎	福祉サービス
養護教諭 朝倉 ○	学年主任 筑紫 ×		児童相談所	

成果	支援目標・支援内容・支援の役割分担ができた	次回会議	日時	2018/2/20 16時	主催者	田能村
課題	情報の集約がしづらい。教育相談コーディネーターに情報を集めて担当者との連絡調整してもらう。	参加者	田能村・広瀬・滝・福田・双葉山 適応指導教室指導員・スクールサポーター			